

北信地区野球協会 令和5(2023)年度 定期総会 議案書



期日	令和6年2月11日(日)
受付	10:30~10:50
定期総会	11:00~12:00
野球教室	13:30~15:00
休憩・移動	15:00~17:00
講演会	17:00~18:45
懇親会	19:00~
会場	オリンピックスタジアム ホテル国際21



定期総会 内容

司会者 小林 大真（北信地区野球協会 総務委員長）

1. 開会の言葉

2. 会長挨拶

3. 議長指名と総会成立報告

4. 議事

第1号報告 第6回北信野球の日について

第2号報告 第1回ティーボール大会について

第3号報告 令和5年度重点活動の成果と課題
事業報告

第1号議案 令和5年度 収支決算

第2号議案 令和6年度 事業計画

第3号議案 令和6年度 予算案

議長退任 質疑応答 意見交換

5. 連絡 その他

6. 閉会の言葉

○野球教室 講演会

講師 辻 正人 様 （滋賀県多賀町 多賀少年野球監督）

『過去から学ぶ未来の野球指導』

北信地区野球協会 北信野球の日実行委員会 令和6年度事業方針

1. 令和5年度活動報告

1) 第6回北信野球の日について

過去5回の活動実績から普及と継続の2本柱にて実施した

普及→従来通りの長野オリンピックスタジアムにて普及イベント

継続→少年野球4年生対象の野球教室（グランセローズ、信越クラブ）

→少年野球高学年と中学生との野球交流

2) 関係人数

オリンピックスタジアム→来場者1121名

野球教室→中野立志館会場112名、信越グランド会場91名

交流会→11会場、少年野球388名、中学生440名

3) 総括

「北信野球の日」が始まりはや7年が経った。新型コロナウイルス感染症により一時中断はあったものの、毎年同時期に開催でき、毎回1000人を超える来場者もあることから社会的認知度も高まっているように感じている。さらに多種目との連携も進み、ソフトボール、ラグビー競技の普及の一助となり、北信地域のスポーツ振興という社会貢献も担ってきている。

野球競技普及が成功したとして、競技人口が増えたのち、その競技者らをいかに継続させられるかという課題は今後長い期間続くであろうが、野球教室や野球交流会は課題解決へ大きな役割を持つ。野球教室・野球交流会をいかに発展・継続させられるかが、実行委員会や協会の課題であると考え。北信地区全体でこの課題を解決に向かえるような協会・委員会なるよう投げかけていく。

*別紙参照「第6回北信野球の日実施報告」

2. 令和6年度活動計画

1) 第6回北信野球の日について

開催日：令和6年12月1日

2) コンセプトについて

引き続き普及と継続をコンセプトにしたい

（協会の方針や社会情勢に合わせ柔軟に対応する）

3) 予算申請

今年度支出額：389,828円

来年度希望額：400,000円

第 6 回 北 信 野 球 の 日 実 施 報 告

令和 5 年 1 2 月 3 日 (日)

※関係のべ人数2597名

普及イベント

長野オリンピック
スタジアム

第1部9:30~11:30
第2部12:30~14:30

関係者総数1460名

継続イベント

野球教室
2会場

関係者総数：309名

野球交流会
11会場

関係者総数：828名

普及イベント 対象：野球未経験者

入場者数1121名
(受付フォーム結果)
運営スタッフ339名



運動プログラム



ホームラン競争



ストラックアウト
スピードガン体験



ソフトボール体験



ホームラン競争
デモンストレーション



ソフトボール
デモンストレーション



キャッチボール体験



ラグビー体験



スピードガン
デモンストレーション

野球教室

関係者309名

対象：少年野球4年生 203名

スタッフ：106名

信濃グランセローズ

中野立志館会場

参加
少年野球
112名



信濃グランセローズ選手 8名
中野立志館高校野球部員 13名
中野西高校野球部 26名

信越硬式野球クラブ

信越グランド会場

参加
少年野球
91名



信越硬式野球クラブ選手 19名
篠ノ井高校野球部員 25名
長野商業高校野球部院 15名

野球交流会

参加者828名

少年野球高学年388名 中学軟式・硬式440名

飯山高校会場

少年野球 27名
中学生 39名



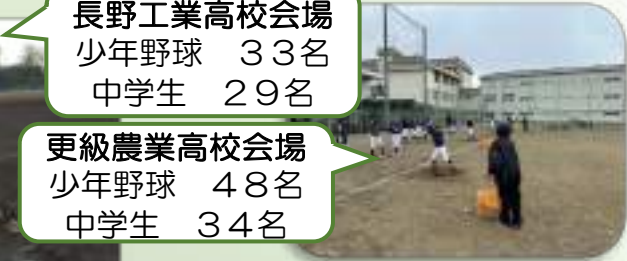
長野工業高校会場

少年野球 33名
中学生 29名



更級農業高校会場

少年野球 48名
中学生 34名



須坂創成高校会場

少年野球 23名
中学生 69名



長野南高校会場

少年野球 46名
中学生 34名



長野東高校会場

少年野球 30名
中学生 22名



篠ノ井高校会場

少年野球 36名
中学生 26名



長野高校会場

少年野球 38名
中学生 34名



松代高校会場

少年野球 45名
中学生 46名



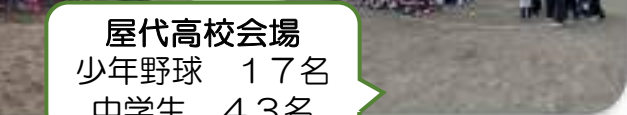
長野商業高校会場

少年野球 45名
中学生 34名



屋代高校会場

少年野球 17名
中学生 43名



第1回長野県ティーボール大会開催報告

長野県野球協会と北信地区野球協会は12月10日（日）にU-10（小学校1年生～4年生）対象の「第1回長野県ティーボール大会」を長野オリンピックスタジアムで開き、約250人の選手に家族や指導者ら計約1,200人の参加でにぎわいました。

ティーボールは投手が投球する代わりに棒状の台（バッティングティー）に置いたボールをバットで打つ競技で、野球への導入として親しまれています。これまで協会の普及イベントで採用してきましたが、今回、初めて開催した大会が盛り上がり、新聞・テレビなどでも好意的に報道されたのは幸いでした。



【見事な打撃フォーム！上位進出チームは狙う方向をしっかりと決めてスイングしていました】

大会は絶好の野球日和の中、東北信地区の計20チームが参加しました。その中には県内各地からの個人参加の子ども達によるチームもありました。なお、個人申し込みが約30名と多かったため一部の子ども達には同じ居住地のチームに加わってもらいました。4カ所の特設ダイヤモンドで、まず4ブロック各5チームによる予選リーグがあり、各リーグ上位2チームの計8チームによる決勝トーナメントの結果、初代の優勝は岸野・泉スポーツ少年団（佐久市）、準優勝はみゆき野ティーボールクラブ（飯山市）、3位は延徳ネクサスライオンズと平野オリオンズ（ともに中野市）となりました。また、予選リーグの下位チームは交流戦で競技を楽しみました。信越硬式野球クラブのご協力ですmoothな試合進行ができ、ありがたいことでした。



【優勝を喜ぶ岸野・泉スポーツ少年団の選手たちと、表彰式後の集合写真です】

※ 予選リーグと決勝トーナメントの試合結果は[こちらから](#)ご覧ください。

選手全員が参加できる試合形式が共感呼び、スタジアムに笑顔と歓声が絶えない大会となりました。女子の参加が多かったのも、これからの野球界を元気にしていくヒントになると歓迎されました。参加した子どもたちからは「楽しかった」「来年もやってほしい」という感想が多く聞かれました。また、保護者の皆さんからは「子どもが野球をこんなに楽しんでいるのを初めて見た」「いつもと違い、4年生までだけで試合できるのはありがたい」「もっと大会を増やしてほしい」などの声が寄せられ、心強く受け止めました。



【子どもたちの真剣な眼差しと笑顔は未来につながる宝物です】

今大会を通じて、昭和の時代に小学校の校庭で子どもたちが、バットを用いず手でゴムボールを打つ「ハンドベースボール」で仲間たちと楽しんでいた光景が連想されました。野球の原点を見る思いがします。小学生1～4年の子どもたちにとって、投手がストライクを投げ続け、それを打者がしっかり打つのは難しいものがあります。その点、ティーボールは、5、6年生で野球を本格的に始めるのに先駆けて取り組む競技として非常にふさわしいと改めて確認できました。

野球人口の底辺拡大と野球振興をめざす長野県野球協会は、来年度も北信地区野球協会とともに長野オリンピックスタジアムのご協力を得て第2回大会を開催したいと考えており、さらに多くのチームの参加を願っています。併せて、今後、ティーボールの全県普及に努めてまいります。

野球の日実行委員会 令和5年度事業報告

委員長 宮崎 平 (須坂創成高校所属)

1 令和5年度の活動方針

野球競技人口の推移とこれまでの実行委員会としての活動から野球というスポーツの普及と競技者の継続を目的とした「第6回北信野球の日」の計画と運営

2 令和5年度活動目標

- | |
|--------------------|
| ①第6回北信野球の日の内容検討と実行 |
| ②第6回北信野球の日の全容分析 |

3 令和5年度実施事業

①第6回北信野球の日

普及イベント：野球未経験者を主に対象とした長野オリンピックスタジアムでの体験会

継続イベント：少年野球4年生対象の野球教室、少年野球高学年と中学生との野球交流会

4 活動目標に対する成果と課題

成果	課題
<p>普及イベント：来場者総数 1121 名、来場子どもアンケートでは「楽しかった」99.8% 「楽しくなかった」0.2% 来場者保護者アンケートでは「大変よかった」87% 「よかった」12% 「どちらともいえない」0.01%となり、入場者数も例年並みであった。成果としては上々である。</p> <p>野球教室：プロ・社会人チームの選手が講師となり2会場で少年野球4年生 308 名が参加した。</p> <p>野球交流会：少年野球 388 名、中学生 440 名が参加した。今年度交流会は中学硬式も含め、開催できた。昨年よりも会場を4会場増やし、より多くの子供達が交流し、野球を楽しんでもらえた。</p>	<p>普及イベント：昨年度の反省より、5・6・7歳をメインターゲットとしたり、幼稚園・保育園にも開催チラシを配布した。数が多く、委員だけではやりきれず、多くの手を借りることができたが、まだまだ、大変な作業の変わりなく、方法を見出したい。</p> <p>野球教室：昨年度の反省から、高校生を多く動員できた。今回は4年生限定だったが、さまざまな角度から内容の検討を続けていく。</p> <p>野球交流会：昨年度の手探りの状態から今回は盛況いただいている。高校生を配置した会場は須く好評をいただいている。次回は高校生の配置を検討したい。</p>

【総括】

「北信野球の日」が始まりはや7年が経った。新型コロナウイルス感染症により一時中断はあったものの、毎年同時期に開催でき、毎回1000人を超える来場者もあることから社会的認知度も高まっているように感じている。さらに多種目との連携も進み、ソフトボール、ラグビー競技の普及の一助となり、北信地域のスポーツ振興という社会貢献も担ってきている。

野球競技普及が成功したとして、競技人口が増えたのち、その競技者らをいかに継続させられるかという課題は今後長い期間続くであろうが、野球教室や野球交流会は課題解決へ大きな役割を持つ。野球教室・野球交流会をいかに発展・継続させられるかが、実行委員会や協会の課題であると考えている。北信地区全体でこの課題を解決に向かえるような協会・委員会なるよう投げかけていく。

1 令和5年度の活動方針

- ・総会の企画，準備，実施。総会は，協会事業等に関する審議と承認，指導者研修の2本立てを基本方針とする。研修の講師などの依頼，調整については，指導力・競技力向上委員会と相談しながらすすめていく。
- ・賛助会員（企業・個人）を広げていく。持続可能な北信地区野球協会のためには，広く寄付を集う必要がある。

2 令和5年度活動目標

社会とつながる，社会を創る子ども指導者になろう！

～小中高，軟式・硬式関わらず，子どもファーストで大人が協力していく体制づくりをつくる～
～野球の未来のため，子どもたちの未来のため，継続的な財源確保に向けて働きかける～

3 令和5年度実施事業

- ① 北信地区野球協会の活動に向けた寄付活動と、継続的な北信地区野球協会の賛助会員（企業、個人）の募集・依頼。
- ② 北信地区野球協会総会 企画運営

4 活動目標に対する成果と課題

成果	課題
<p>○寄付活動について</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度は、昨年度までの振り込みでの寄付活動のほかに、コングラントを使っの寄付活動を行った。昨年度より、個人会員様が増え、例年寄付をしてくださっている企業様も継続的に寄付をしていただいた。多くの方に（別紙参照）・“寄付のお願い”のポスターを作成し、賛助会員様に配布した。 <p>○総会について</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度も参集での開催ができてよかった。・毎年、内容をアップデートしながら、「総会」の在り方を検討し、さまざまな方のアドバイスをいただきながら運営している。「持続可能」にしているために、もっと多くの北信地区野球協会会員の連携を模索したい。 <p>○旅費について</p> <p>今年度より、各委員会実施の際旅費の支給を行った。次年度も続けていきたい。</p>	<p>・継続的な財源確保に向けて、コングラントを始めたが、なかなか新規賛助会員様が増えず苦勞した。理事会の皆様の呼びかけのほかに、対策を考えていきたい。</p> <p>・全カテゴリー，連盟，団体等との情報共有。そのため情報配信，連絡体制の改善、について活動ができなかった。重複する活動があるので、各委員会と連絡を密にとっていきたい。</p> <p>・北信地域でも市町村によって地域移行のスピードに温度差はあるが、総務委員会として、15歳以下の全ての子どもたちが望む野球に取り組める環境づくりに協力していく。</p>

5 【総括】

毎年2月の総会の在り方を検討し、内容のあるものにしていきたい。また、総務委員会を定期的実施できなかったため、寄附活動を充実させるため、zoomを活用しながら、定期的実施していきたい。今年度より旅費支給を行ったことを、来年度も継続していきたい。

6 寄付にご協力いただいた、企業・団体様、個人会員様

北信野球協会に協賛いただいております企業・団体様(敬称略)		
株式会社宮坂総合寝装	全国野球復興	長野市
信濃グランセローズ株式会社 長野県民球場	松代少年野球	石田通信機(株)
株式会社ふるさと石産	マルコメ株式会社	長春館
株式会社スター商会	小林建築	(株)長野経済新聞社
株式会社北信家具センター 佐藤彰芳	株式会社 山口建築	長野市スポーツ課
一般社団法人長野移動販売つなぎ会 村上裕紀子	有限会社 ACEN	坂田木材株式会社
株式会社西澤製作所	森永長野中央株式会社	(株)原建
株式会社Reborn(リボーン)	株式会社スクールユニホーム タカコウ	(有)定鑑堂
株式会社 湯本建築設計	竹内塗装	
三巧金属 株式会社	株式会社 北揚	
中野土建株式会社	有限会社ユニバーサル・アイ	
長野スポーツマガジン	塚田建設株式会社	
有限会社 滝沢板金塗装	丸山商店	
北信野球協会に協賛いただいております個人会員様(敬称略)		
柴山 晋一	伊藤 秀樹	
草田 敏彦	山口 近	
宮本 誠	畔上 浩一	
滝沢 友和	カトウ ヒロミ	
中曽根 通	ムラマツ アツシ	
永原 幸一	マツハシ タカオ	
千葉 信人		
宮崎 崇		
たけふし さひとし		
湯本 浩行		
石田 三知夫		
花岡 健太郎		
上原 智洋		



多くの皆様に、寄付をいただきました。

寄付いただいた皆様、ありがとうございました。

北信地区野球協会寄付のお願い

長野県野球協会 北信地区野球協会会長
柴山 晋一

時下皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶びを申し上げます。日頃より、子どもたちの健全育成にご理解とご協力を戴きまして、心より御礼を申し上げます。

つきましては、北信地区の野球界発展を目的とした「北信地区野球協会」、並びに、毎年12月第一日曜日に開催され、本協会のメイン事業である「北信野球の日」の趣旨に御賛同いただき、継続的な財源確保に向けた活動にご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。協会の活動は、北信地区の中学生年代以上の選手と指導者の「登録費」と、皆様からのご寄付のみで成り立っております。

また、今年度より、持続可能な寄付集めの方法について、県野球協会に習い、寄付システムとして実績のあるコングラントを活用しております。ぜひ、野球の未来のため、子どもたちの未来のため、私たち大人が持続可能な北信地区の野球を創っていきましょう。

詳細は“北信地区野球協会 HP” <https://www.nagano89.com/> , “北信地区の子どもたちと野球の“今”と“未来”のために寄付をお願いします” <https://congrant.com/project/nagano89/6558> (下記参照 QR コード) をご参照ください。

「賛助会員の募集について」

皆様にご支援いただく賛助会員の種類は下記のとおりです。何卒、ご協力をお願いいたします。なお、「賛助会員」についてに関するお問い合わせは、本 HP 内の「more」の「お問い合わせ」よりお願いいたします。

1 賛助企業会員

- (1) 賛助企業会員とは、本協会が協会活動への賛助をお願いする企業を言います。
- (2) 賛助メニューは、1口5000円となります。
- (3) 協会 HP、毎年12月の北信野球の日でご紹介、2月の総会時に企業名を掲出させていただきます。

2 北信地区野球協会賛助個人会員

- (1) 県協会賛助個人会員とは、本協会が協会活動への賛助をお願いする個人を言います。
- (2) 県協会賛助個人会員メニューは、一口1,000円となります。
- (3) ご支援いただいた金額により、下記の通り皆様のお名前を掲出させていただきます。

なお、お名前の掲出をご希望されない場合は、その旨お申し出ください。

1) 1口以上→2月の総会時に個人名を掲出

2) 2口以上→協会 HP、毎年12月の北信野球の日でご紹介、2月の総会時に個人名を掲出

記

1. 募金額 個人1口1,000円から 企業1口5,000円から
2. 募集期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日まで
3. 納入方法 ①お振込み、担当者への持参、役員による集金
②北信地区の子どもたちと野球の“今”と“未来”のために寄付をお願いしますによるご寄付
4. 金融機関名：八十二銀行 支店名：篠ノ井支店 (店番号283) 口座番号：普通 877685
口座名：北信地区野球協会 代表 齋藤 貴弘

<参照>

北信地区野球協会 HP



“北信地区の子どもたちと野球の“今”と“未来”のために寄付をお願いします”



<問い合わせ>

長野県野球協会 北信地区野球協会
総務委員会
委員長 小林 大真
(小布施町立栗ガ丘小学校所属)
会計担当 小山 大貴
(長野市三陽中学校所属)

E-mail (小林個人)

masanao.k0408@gmail.com

E-mail (小山個人)

daiki.k19880806@gmail.com

令和5年6月より、保護者アンケートを実施したものをまとめましたので、ご報告します。

○野球を始める一歩を踏み出す時に障害となる要素がありましたらお答えください。



上記のアンケート結果から、少年野球の保護者が感じる負担は、大きく分けて以下の3つに分類できます。

①時間的な負担

練習や試合の送迎、当番、グラウンド整備などの時間的な負担が大きいことが、多くの保護者が感じている大きな負担です。特に、共働き世帯や、土日祝日も仕事がある保護者にとっては、大きな負担となります。

②金銭的な負担

野球道具やユニフォームなどの初期費用、練習や試合の交通費などの金銭的な負担も、保護者の大きな負担となっています。特に、野球道具は高額なものが多く、初期費用として大きな負担となります。

③精神的な負担

試合中の指導者の厳しい指導や、保護者同士の人間関係など、精神的な負担も少なくありません。特に、指導者の厳しい指導や、勝利至上主義のチームに所属している保護者にとっては、大きな負担となります。

これらの負担を軽減するためには、以下の対策が考えられます。

<保護者の負担を減らすための仕組みづくり>

練習や試合の送迎、当番、グラウンド整備などの保護者の負担を減らすための仕組みづくりが必要です。対外試合を精選し、その分、練習を増やすことで、自転車等で行き来ができることが増えれば良いのではないかと考えます。

<保護者同士の人間関係の改善>

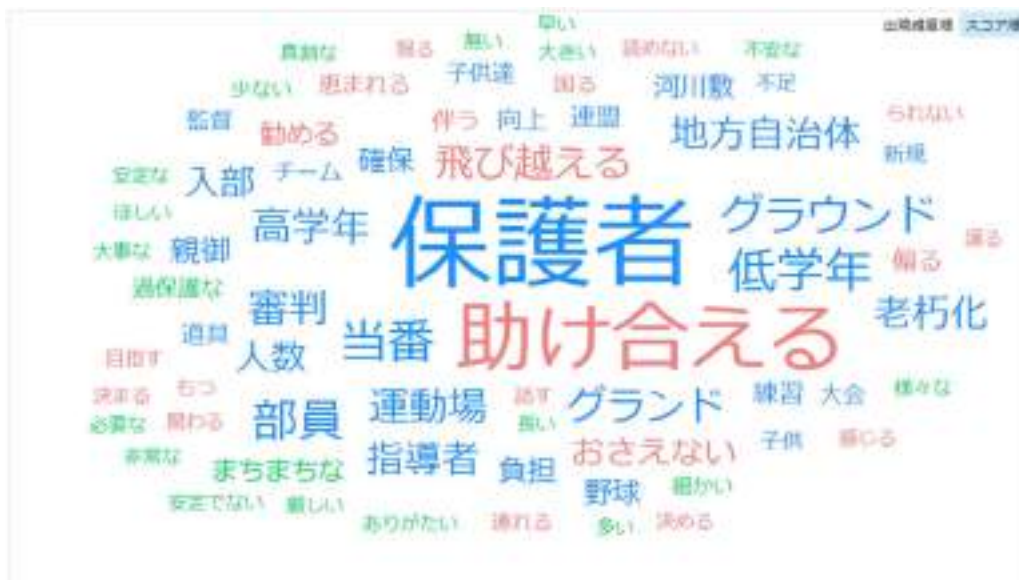
保護者同士の人間関係の改善のために、チーム内での交流やコミュニケーションを促進するような取り組みが求められます。例えば、練習日の休日、野球以外の地域の専門家（外部講師）などのお話を聞いたり、レクレーションのような「遊び」の要素も取り入れたりしてはどうでしょうか？

少年野球の競技人口の減少は、保護者の負担が大きな要因の一つと考えられています。保護者の負担を軽減するための対策を講じることで、少年野球の競技人口の減少を食い止め、子どもたちが野球を楽しめる環境を整えていくことが重要です。

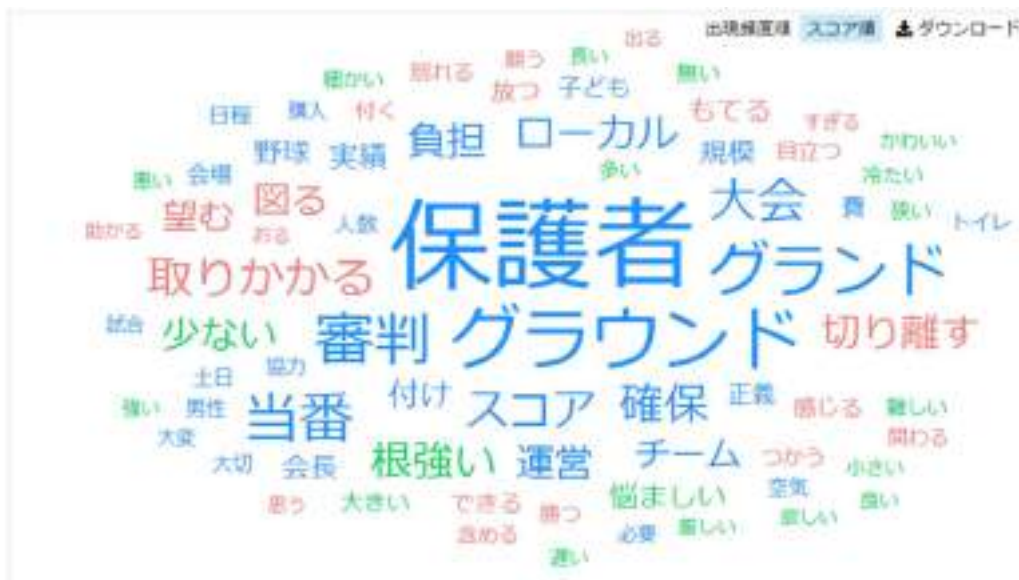
○野球に取り組み、お子様に身に付けて欲しいことは何ですか？



○チーム運営でお困りのことはございますか？



○大会運営についてお困りのことはございますか？



○現在の大会数（試合数）に関してどう思われますか？



アンケート結果を見ると、現在の大会数（試合数）について、以下の意見が挙がっています。

<「多い」という意見は、以下の理由が挙げられています。>

- ・練習時間が足りず、上達が遅れる
- ・ケガのリスクが高まる
- ・保護者の負担が増える

<「適切」という意見は、以下の理由が挙げられています。>

- ・試合経験を積むことで、子どもたちのモチベーションが上がる
- ・さまざまなチームと対戦することで、レベルアップにつながる

<「問題なし」という意見は、以下の理由が挙げられています。>

- ・参加する大会は任意なので、無理に参加しなくてもよい

これらの意見を踏まえると、現在の大会数（試合数）は、ある程度多すぎるという見方が一般的であると言えます。特に、以下の点が課題として挙げられます。

<課題>

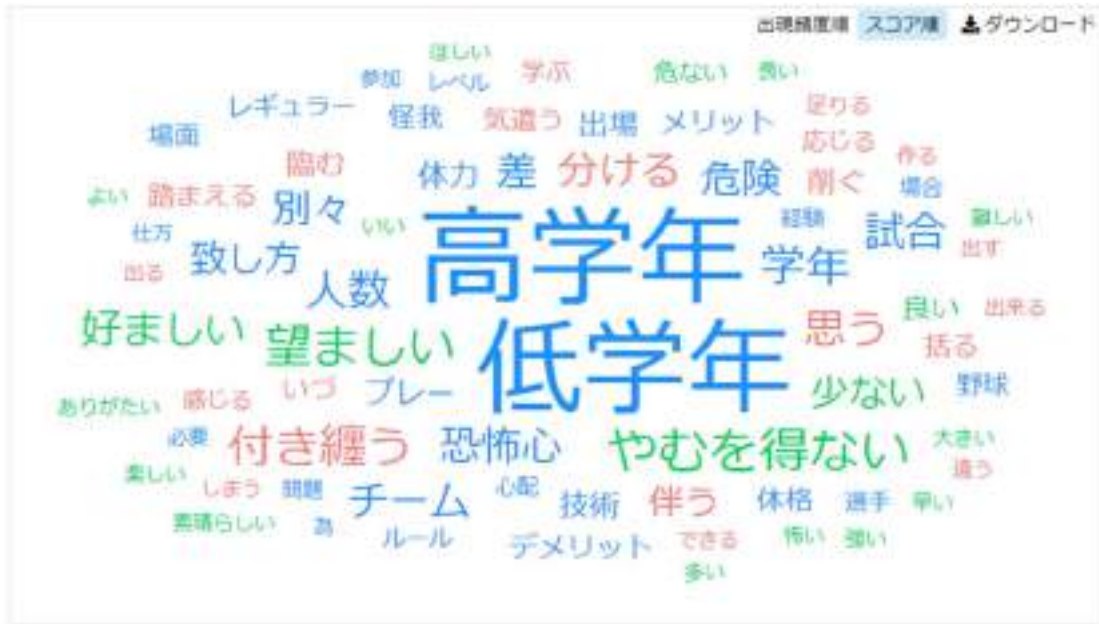
- ・練習時間とのバランス
- ・ケガのリスク
- ・保護者の負担

<解決方法>

- ・大会数を制限したり、大会の開催時期を分散したりする。（ローカル大会でメダル等の参加費が高くなるものを減らしていく・・・結局、同じ大会参加費を払っても強いチームが、メダル等をもたらしたり、試合球をもらったりしているため、結局、勝利を目指すチームが増えてしまう）
- ・ローカル大会はなるべく、サッカーやバスケットのようにリーグ戦で行う。（ボール・ロジンも持ち寄りにすれば、球審手当などに回せる） **R5 年度長野市大会中学生の部で実証済み**
- ・球数制限を徹底する
- ・各チーム、努力目標でもいいので、年間大会参加数の上限を設ける
- ・ローカル大会であれば、リーグ戦の導入、また、1ストライクから始めたり、投手の球数を制限したりするなどのルールの工夫をすることで、投手の怪我等のリスクも減るだけでなく、試合時間も短くなり、保護者の負担も軽減します。 **R5 長野市大会中学生の部で実証実験済**
- ・保護者も参加できる応援合戦や体験イベントを開催する

これらの取り組みにより、大会数（試合数）を適正化しながら、子どもたちが安全に楽しく野球を続けられる環境を整えていくことが重要です。

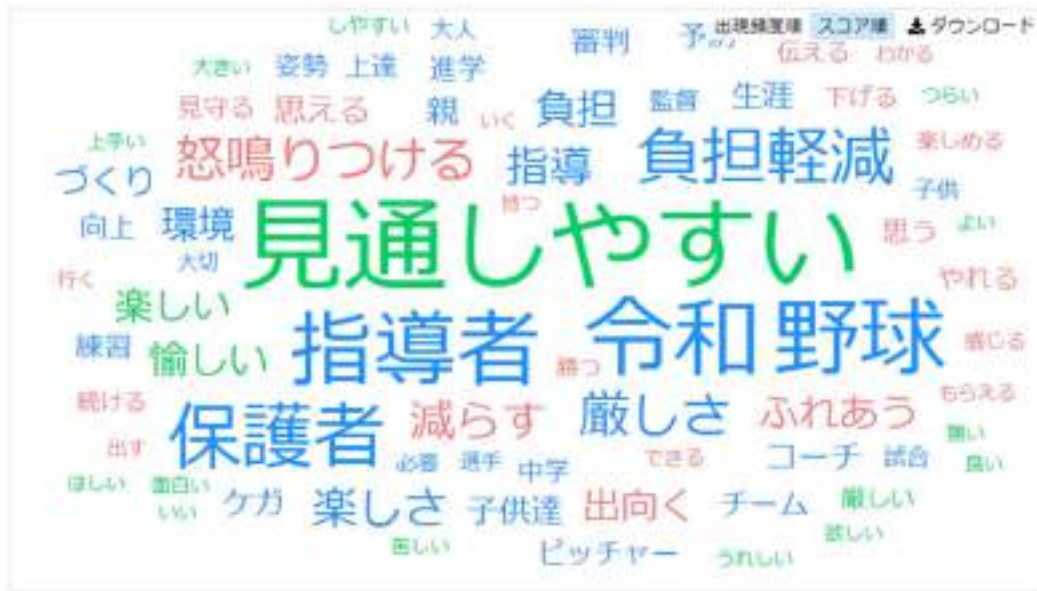
○高学年と低学年が共に試合に臨むことにどう思われますか？



○少人数でチーム編成に苦慮している状況をどう思われますか？



○野球の継続率向上に必要と思われることがありましたらお聞かせください。



野球の継続率向上に必要と思われることは、大きく分けて以下の3つです。

1. 楽しさを感じられる環境づくり
 - ・練習や試合を工夫して、楽しくできるようにする。
 - ・指導者が選手に楽しさを伝えられるようにする。
 - ・保護者も楽しく野球に携われるようにする。
2. ケガの予防と体調管理
 - ・定期的な健康診断やケガの予防指導を行う。
 - ・熱中症対策を徹底する。
 - ・過度な練習や試合を避ける。
3. 継続しやすい環境づくり
 - ・道具や練習環境の充実を図る。
 - ・保護者の負担を軽減する。
 - ・中学校・高校へのスムーズな移行を図る。

<改善策>

- ・レクリエーション要素を取り入れた練習や試合を実施する。（U-8も巻き込んで）
 - ・選手一人ひとりの個性を尊重し、楽しさや達成感を味わえる指導を行う。
 - ・保護者参加型の練習やイベントを実施する。
 - ・ケガの予防や体調管理に関する指導を徹底する。
 - ・道具や練習環境の充実を図る。（校庭を管理する各小学校と風通しをよく）
 - ・保護者の負担を軽減する仕組みを整える。
 - ・地域の中学校や高校の野球部と連携して、スムーズな移行を図る。（例：U-15 長野北部野球クラブは地域の少年野球U-12と、地域のグラウンドで練習する長野高校野球班と連携し、U-12も中学校や高校のグラウンドを使えたり、小中学生と一緒に技術指導をしたりなど、地域を巻き込んで活動している）
- これらの取り組みにより、野球の楽しさや魅力を多くの人に伝え、継続率向上につなげていきたいものです。

以上のことから今までと同じやり方で大会やクラブを運営していくのではなく、再考しながら北

信地区の野球を発展させていきましょう。

広報委員会 令和5年度事業報告

委員長 長谷川 良人 (千曲市立屋代中学校)

1 令和5年度の活動方針

北信地区野球協会の行う普及活動、指導・競技力向上にかかわる事業の先行的な発信と共有

2 令和5年度活動目標

SNS (Facebook・Twitter・Instagram)、ホームページなどでの継続的な情報発信

フォロワー数、リーチ数の増加

北信地区野球協会への協賛・協力企業の募集

3 令和5年度実施事業

普及活動、指導競技力向上にかかわる事業の募集、活動内容の周知。

【継続】①活動・事業の様子の発信。

→SNSでは、各カテゴリーまたは各チームにフォロワーになっていただき、インフルエンサー的な存在となりたい。各チーム、団体のSNSのリーチ数にも寄与したい。

フォロワー数1000

【継続】②広告ツールを活用し、野球関係事業の参加希望者への周知、募集を図る。

→拡散希望について気軽に依頼していただく。

→U-12選手募集チラシのHP掲載数の増加

【新規】③北信地区野球協会への賛助企業の募集

→「北信野球の日」への集客力

広告配布実績(長野県北信地区小学生 50000部配布) 令和5年度幼稚園・保育園への配布拡大予定 企業広告への寄与

4 活動目標に対する成果と課題

	成果	課題
①	フォロワー数 Instagram: 589→894 リーチアカウント数3201回 X (Twitter): 155→153 令和6年1月5日現在 北信地区野球協会への協賛企業・団体を紹介した。	北信野球の日でのフォロワー数増加の取り組みを継続的に行う必要がある。
②	U-12少年野球チームマップを作成、ティーボール大会募集チラシ裏面への掲載 北信野球の日 チラシ配布数50,000枚(北信地区幼保小) ティーボール大会チラシ配布数20,000枚(北信地区小1~4年)	時期、内容を確認し、宣伝費をかけて情報を発信していく必要がある。 SNSが実際に参加者募集につながっているのが見えづらい。
③	賛助企業・個人のチラシ、HP、SNSへの掲載	(総務委員と連携して行っていく)

【総括】

○引き続きフォロワー数を増加させ、情報発信ツール・募集ツールとしての役割を果たしていきたい。野球競技だけでなく、長野県北信地区全般の社会への寄与をめざす。

北信少年野球チームマップ

- 長野市（北）
- ①浅川育成会少年野球
 - ③安茂里松ヶ丘少年野球
 - ⑤上松少年野球
 - ⑦加茂戸隠少年野球
 - ⑨大豆島少年野球クラブ
 - ⑪徳間少年野球
 - ⑬鍋屋田スピリッツ
 - ⑮長野東junior
 - ⑰緑ヶ丘少年野球部
 - ⑲長野Regulus
 - ⑳栗田少年野球クラブ

- ②朝陽育成会少年野球
- ④育成会若槻クラブ
- ⑥川合新田ファイターズ
- ⑧古牧キッズ
- ⑩裾花少年野球
- ⑫豊野アップルズ
- ⑭南部上高田少年野球
- ⑯古里オールスターズ
- ⑳三輪少年野球クラブ
- ㉑柳原ファイヤーズ
- ㉒中越育成会少年野球

- 中野市
- ①延徳ネクサスライオンズ
 - ②高社ファイターズ
 - ③中野学童軟式野球クラブ
 - ④平野オリオンズ

- 信濃町
- ①信濃ナウマンズ
- 飯綱町
- ①飯綱ドリームズ

飯山市

- ①飯山小ファルコンズ
- ②ヤング木島
- ③あきつ少年野球
- ④泉台ジュニア
- ⑤戸狩少年野球

野沢温泉村

- *栄村・野沢温泉村・飯山市
- ①長峰北ユニオンズ

栄村

- 木島平村
- ①木島平少年野球

木島平村

- 女子軟式学童
- ①夢丸女子(みゆきの地区)
 - ②長野東J-Girls(北信地区)

- リトルリーグ
- ①長野南リトル(長野市内学童)
 - ②須坂小布施リトル(須坂市・小布施町学童)
 - ③坂城千曲リトル(千曲市・坂城町学童)

- 長野市（南）
- ⑳三輪少年野球クラブ
 - ㉑柳原ファイヤーズ
 - ㉒中越育成会少年野球
 - ㉓オール豊栄
 - ㉔御厨神宮少年野球
 - ㉕二ツ柳柳沢地区少年野球
 - ㉖塩崎イナズマドラゴンズ
 - ㉗川中島日新少年野球
 - ㉘丹波島少年野球クラブ
 - ㉙寺尾イーグルス
 - ㉚西寺尾ライオンズ
 - ㉛東条若葉少年野球
 - ㉜氷鉤イーグルス
 - ㉝真島ファイターズ
 - ㉞育成会松代少年野球
 - ㉟宮前少年野球
 - ㊱横田唐臼高田少年野球
 - ㊲若穂少年野球
 - ㊳南原育成少年野球
 - ㊴共和ファイターズ
 - ㊵会・御幣川クラブ
 - ㊶青木島エコーズ

北長野

長野市

小川村

南長野

信濃町

飯綱町

中野市

小布施町

山ノ内町

高山村

須坂市

千曲市

坂城町

- 坂城町
- ①坂城ガッツ

- 千曲市
- ①東小スポーツ少年団
 - ②戸倉ファイターズ
 - ③埴生少年野球クラブ
 - ④屋代スポーツ少年団
 - ⑤八幡スポーツ少年団

- 須坂市
- ①臥龍インフィニティーズ
 - ②日野少年軟式野球クラブ
 - ③日滝モンキーズ

- 小布施町
- ①小布施町スポーツ少年団
- 高山村
- ①高山村少年野球クラブ

- 山ノ内町
- ①オール山ノ内



普及委員会 令和5年度事業報告

委員長 清水伸彦（長野市少年野球連盟所属）

1 令和5年度の活動方針

野球・ソフトボールを含めたベースボール型球技の普及活動を支援する。特に、小学校低学年及び幼保への働きかけを目指し活動を行う。同時に、離脱する子どもを減らしていくことも目指したい。あるべき普及のために、広報委員会及び指導力・競技力向上委員会との連携を密にする。

2 令和5年度活動目標

- | |
|--|
| ①地域移行を見据えた普及活動の実践 複数チームによる活動
②U-8におけるベースボール型球技の普及促進
U-8を対象とした練習会、活動を実施 |
|--|

3 令和5年度実施事業

- ①既存のチームでの活動に加えて、3チーム合同で各カテゴリーの活動を実施。（実験的活動）
- ②NAGANO スポーツフェスティバルでのキッズ野球体験会の実施。

4 活動目標に対する成果と課題

成果	課題
<p>① (a) 6年生主体のチーム（クラブ）…県大会優勝を目標に、全国大会出場を目指して活動。</p> <p>(b) 5年生主体のチーム（ジュニア）…支部予選、北信予選出場を通して来季県大会優勝を目標に活動。</p> <p>(c) U-8主体のチーム（キッズ）…将来への布石として今年度から3チーム選手同士の融合を目指して活動。初心者クラスのレベルアップと、野球の楽しさを身に付けて競技継続に結びつけていく。</p> <p>②NAGANO スポーツフェスティバルへの協力。キッズ野球体験会の場と捉え、『未来の君のSHO-TIME!』と銘打ちオリスタで実施（別紙1）。当日参加を含めて18名の児童と10名以上の保護者、また2名の3年生少年野球選手がサポート。</p>	<p>1) U-8を対象とした講習会を継続的に行うことができず、継続的改善まで至らなかった。よりシンプルな企画運営を模索したい。</p> <p>2) 幼稚園・保育園への独自の普及活動は依然踏み込めないままとなってしまった。イベントチラシの配布を幼稚園・保育園へ広げていきたい。そして実績を重ね、幼稚園・保育園から普及活動の依頼がある形を目指したい。</p> <p>3) 各団体や各チームにおいて行われている普及活動のノウハウを北信地区野球協会の持つ情報資源として活用していきたい。</p> <p>4) NAGANO スポーツフェスティバル参加者の後追い、体験会案内等の働きかけが可能か長野市スポーツ課とも協議したい。</p>

【総括】

U-8を大切にしながら各カテゴリー及び各チームが活動していけるようアイデアを集め、そしてみなさんと共有していきたい。そのためにも、自チームの活動だけにとらわれず、広い視野を持って各カテゴリー及び各チームが活動していきたい。もちろん勝負ごとにおける勝敗は重要であるが、北信地区野球協会はその一歩先、野球を始める前の子どもたち、野球を始めたばかりの子どもたちを大切にできているかを重要な評価軸としていきたい。今年度もさまざまな場面でみなさまに普及活動を展開していただき感謝申し上げます。次年度以降もさらに力強い普及活動を展開していけるよう普及委員会としても尽力して参ります。

スポフェスコラボVer. **地域いきいきスポーツDAY**
 北部スポーツレクリエーションパーク

第3日曜日は **10/15日**
 市民スポーツの日

長野市民ならだれでも無料

今年のスポフェス北レク会場は
「地域いきいきスポーツDAY」と共催!

事前受付不要 当日参加OK 雨天決行

屋内運動場 はじめてのテニス 9:00~10:00	屋内運動場 親子DEテニス 10:00~11:00	屋内運動場 キッズスポーツサーキット 11:00~12:00	屋内運動場 コア・コンディショニング 11:00~12:00
屋内運動場 スラックライン 10:00~12:00	屋内運動場 ポッチャ 10:00~12:00	屋内運動場 スマイルボウリング 10:00~12:00	屋内運動場 跳び箱チャレンジ 10:00~11:00
屋内運動場 鉄棒チャレンジ 11:00~12:00	屋内運動場 モルック&アジャタ 13:30~14:30	屋内運動場 Tennis Play & Stay 14:30~16:00	屋内運動場 ニュースポーツひろば 13:00~16:00
屋内運動場 ポールウォーキング 13:00~14:30	屋内運動場 川本ゆかりさんと親子体操 13:00~15:00	管理棟会議室 家族でピンポン 10:00~12:00	管理棟会議室 おとなも子どもも!ロボットと一緒に体を動かそう! 12:00~13:00
管理棟会議室 笑いヨガ 13:00~14:30	管理棟会議室 バランスボールトレーニング 15:00~16:00	屋外 青空ヨガ 10:00~11:00	ランチタイムコンサート 東北中吹奏楽部 12:20~12:45
サイマルと遊ぼう! 13:00~16:00	北レクマルシェ 10:00~16:00	アクションスポーツ広場 スケートボード 10:00~11:30/13:00~14:30	屋外特設会場 ボルダリングチャレンジ 12:00~16:00

お問い合わせ **北部スポーツ・レクリエーションパーク**
 長野市三才1981-1 TEL. 026-266-0582

スケジュールなどの詳しい情報はコチラ

Kinoko, New Generation

- NO KINOKO, NO TABLE, NO LIFE -

きのこを食べないなんて言わせない
 お料理のすべてに、きのこのチカラを...

「きのこペースト」で、今までとは違う食卓を、体験してみませんか?
 きのが好きな方、苦手な方、すべての方に...

きのこが得意な方でも
 きこの使えなかった料理にも
 食卓以外の場所でも

少ない調味料でうま味抜群ガッツリメニューに!
 調味料に加えればコクとうま味が増して満足の一皿に!

電子レンジだけで簡単手作りおせんべい等に

きのこペーストの作り方はこちら

HOKKO

第50回 NAGANO スポーツフェスティバル

50th NAGANO SPORTS FESTIVAL!

supported by **HOKKO**

10/15 SUN 開催!

参加無料 参加者大募集! 長野市在住・在勤の方ならどなたでも無料でご参加いただけます!

NAGANOスポーツフェスティバルは、総合型地域スポーツクラブ・地域密着型プロスポーツチーム・行政機関等が連携し、子どもから高齢者まで全ての世代の市民を対象に、スポーツの動機づけ及びスポーツや運動による健康増進の意識づけを目的としたスポーツイベントです。

AC長野パルセイロ 信州ブレイブウォリアーズ ポアルース長野フットサルクラブ

抽選で各10組 **20名様に** **ホームゲーム無料ご招待!**

当日実施する体験会や教室に参加された方の中から抽選で、各10組20名様に、AC長野パルセイロ or 信州ブレイブウォリアーズ or ポアルース長野フットサルクラブ各ホームゲームの無料招待券をプレゼントします!
 ※教室及び体験会は、実行委員会主催のものに限ります。

観戦対象試合
 AC長野パルセイロ ホームゲーム全試合 場所:長野Uスタジアム
 信州ブレイブウォリアーズ ホームゲーム全試合 場所:ホワイトリング
 ポアルース長野フットサルクラブ ホームゲーム全試合 場所:ホワイトリング・ことぶきアリーナ千曲

申込方法
 当日参加される体験会または教室にて、応募券をお配りします。応募券に必要事項を記入し、各会場に設置してある応募箱に投入してください。

当選発表
 10月31日、発送をもってかえさせていただきます。観戦の詳細については、当選者へ招待券とともにご案内いたします。

北部スポーツ・レクリエーションパーク 長野市 三才1981-1

大岡体育館 長野市大岡2-298-1

南長野運動公園総合運動場 長野市篠ノ井東福寺320

長野運動公園総合運動場 長野市吉田5丁目1-19

塩崎体育館 長野市篠ノ井塩崎5268

篠ノ井体育館 長野市篠ノ井岡田2059-1

長野市のホームページをチェック!

ドリンク提供 (※数に限りがございます。)

【主催】NAGANOスポーツフェスティバル実行委員会(事務局:長野市スポーツ課)
 【後援】信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、長野市民新聞社、FMぜんこうじ、INC長野ケーブルテレビ
 【協賛】イオンビッグ(株)

申込期間 **令和5年9月7日(木)~10月6日(金)** 申し込み方法 「事前受付」が必要な教室、体験会は、各イベントの担当へ直接お申込ください。お申込の際は、件名に参加教室名を記入し、氏名・年齢・性別・電話番号・Eメールアドレス・住所・申込人数を記入またはお伝えください。

●事前受付が必要な教室・体験会は、直接主管団体へお申込ください。●申込期間は、9月7日(木)から10月6日(金)必着です。
 ●申込み多数の場合、期間内であっても受付を締め切る場合があります。●教室・体験会によっては、服装や持ち物に指定がございます。●雨天時は中止をする場合があります。

NAGANOスポーツフェスティバル 全体に関するお問い合わせ 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市スポーツ課内 NAGANOスポーツフェスティバル実行委員会事務局 TEL:026-224-7804(直通) FAX:026-224-7351

長野市スポーツフェスティバル実施要領 【10月15日(日) オリピックスタジアム】

2023.9.30
北信地区野球協会普及委員会

※当日のスケジュール（メニュー）や担当割り振りは以下の通りですが、子供たちの様子を見ながら柔軟な対応をお願いします！

目安時間	実施項目	要 領	実施ゾーン	担当者（◎：主担当）					
				永原	西村	丸山 晃	丸山 雄	スタッフ A	スタッフ B
8:30	スタッフ集合 打合せ	・永原（総括・フォロー・電光掲示板操作） ・西村（進行） ・丸山晃、丸山雄（進行補助・指導） ・他のスタッフは、適宜それぞれの班補助をお願いします。 ☆記録は適宜全員でお願いします	1 塁側ベンチ	◎	○	○	○	○	○
8:40	準 備			◎	○	○	○	○	○
9:00～ 30min	①受付	参加者は左肩にシール	玄関ホール	○				◎	○
	②球場探検	待ち時間があれば オリスタ室内練習場、球場巡り	室内練習→球場内			◎	○		
9:30	③全員集合 1 塁ベンチ側	自己紹介 （学年・学校・名前）	1 塁ベンチ前	○	◎	○	○	○	○
	④班分け	3～5班に分ける （参加人数に応じて）	1 塁ベンチ前	○	◎	○	○	○	○
	⑤準備運動	ベース1周、ストレッチなど	内野	○	◎	○	○	○	○
	⑥ストラックアウト	① 班ごとに競争 ② かご入れ競争	1 塁ベンチ側	○	◎	○	○	○	○
	⑧打ってみよう I	Tスタンド×3～5か所 フリーで打たせる	外野(ライト)側	○	◎	○	○	○	○
	⑨キャッチしてみよう	大人とキャッチボール ※レベルに合わせて適宜調整	外野(レフト)側	○	◎	○	○	○	○
10:45	⑮集まりっこベースボール	チームに分かれて試合	内野～外野	○	◎	○	○	○	○
	⑯ダウン	ストレッチ	バックネット前 付近	○	◎	○	○	○	○
	⑰挨拶	挨拶（普及委員長）・感想（子供達）	1 塁ベンチ前	○	◎	○	○	○	○
11:30 ～ 12:20	参加者解散 片付け			◎	○	○	○	○	○

(約2時間)

【準備品】

《協会備品》

- バット グローブ J球 やわらかボール コーン10個 巻き尺2 かご5個
ストラックアウト3～5セット ミニハードル2セット ラダー2セット ティースタンド3セット
案内看板、各種表示、受付セット、参加者シール

《オリスタから借用》

- マイク ネット5枚 コーン（パイロン）10個 ベース

☆雨天の場合は、全て室内練習場にて実施

指導力・競技力向上委員会 令和5年度事業報告

委員長 山本 一博（長野市立裾花中学校）

1 令和5年度の活動方針

- ・指導者の指導力向上を目指して講習会の実施や、県協議会のライセンス取得の推進。
- ・選手の技能向上・健全育成を目指してU10、U12、U15、U18の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会の実施。（一貫した指導体制の確立）

2 令和5年度活動目標

自ら考え、学ぶ選手の育成

～指導者の指導力向上と選手の技術力の向上、健全な育成を目指す～

3 令和5年度実施事業

5月	プロ野球OB会による野球教室の開催協力 於：オリンピックスタジアム 野球教室への参加児童：110名（13チーム） 審判講習会への参加人数：45名（13チーム）
11月	第56回長野市少年野球大会の準備、運営
2月	・北信地区野球協会総会 指導者研修会 講師：多賀少年野球クラブ監督 辻正人氏

※7月から10月まで長野市内で中学3年のチーム（北長野クラブ、南長野クラブ）を発足し、10月まで活動しました。南長野クラブは、都道府県対抗の大会で県代表になり、北信越大会に出場しました。自チームを見ながらの運営は大変ですが、多くのスタッフで協力しながら運営していけるとよいかと思っています。

4 活動目標に対する成果と課題

成果	・長野市少年野球大会（中学校の部）を協会運営することになったが、様々なご意見をもらいながら、新たな大会の形を提案することができた。
課題	・委員会の中でさまざまなカテゴリーを対象にした講習会や研修方法を考えていく。 ・講習会を前もって周知し、多くの指導者が参加し、一緒に学べる講習会にする。 ・講習会で学んだことを広報部とも協力し、広げていく。 ・長野市少年野球大会（中学校の部）は、実質1人で運営する形になってしまった。仕事を分け合えるようにしたい。

※参考資料

昨年 11 月に行った長野市少年野球大会(中学校の部)の取り組みについて紹介します。秋以降は、育成に重きを置く大会が増えていくことを期待しています。大会要項のデータが欲しい方、お問い合わせください。

◇大会要項抜粋

目的

- ①努力目標を設定し、指導者が試合の勝敗よりも個々の育成に意識を向けること
- ②多くの選手を登板させることで、春に向けて複数の投手を育成するきっかけとすること
- ③多くの選手に出場機会を与え、個々の課題の解決につながる場とすること

競技方法

- ・リーグ戦方式(3チームのグループ)、トーナメント方式(4チームのグループ)
- ・3日目まで、3チーム、または4チームで試合を行い、それぞれのリーグ、トーナメントの中で順位を決定し、その結果を受けて、次の日の組み合わせを決定する。3日目のグループ1位を4日目に同じ会場に集め、その4チーム中で4位から1位の順位を決定する。その他は、3会場に分かれて交流戦を行う。
- ・試合時間は、90分とする。(90分を超えて、次のイニングに入らない)
- ・7回終了時や90分を超えて、裏の攻撃が終わった時点で、同点だった場合は、タイブレーク方式で勝敗を決定するまで試合を継続する。

努力目標について

今大会は、上位大会につながるわけではないので、選手育成を主な目的としています。

目的達成のための努力目標を設定したので、選手起用の上で参考にしてください。

努力目標はあくまで目安です。これを守らないことによってペナルティを課すということはありません。

① 個人の1日の投球数を70球までとする

今大会は、土日で4試合をこなすことになり、普段の大会より試合数が多くなっています。少しでも1人あたりの負担を軽減し、複数投手で大会に臨んでください。複数の投手を育てるきっかけになることを願っています。うまくいかないこともあるかと思いますが、お互いに勉強する場としましょう。

② 1日あたり、1人最低2打席は打席に立つ

上位大会につながる大会だと、チームによっては、頻繁に選手を交代することが難しいかと思えます。今大会は、みんなで野球を学ぼうという大会ですので、多くの選手にチャンスを与えてほしいと思います。

地域化推進特別委員会 令和5年度事業報告

委員長 中村 京太 (所属) 長野市立東北中学校

1 令和5年度の活動方針

スポーツ庁の方針に基づき、令和7年度末を目途に、中学軟式野球の「部活動の地域移行」が着実に進展するよう、子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保と、野球に親しむ活動環境づくりの視点から関係者が協働し、段階的に部活動から地域クラブへ発展的転換を図る。

2 令和5年度活動目標

**「U15以下の全ての子どもたちが野球に親しめる活動環境づくり」
～小中協働、協会内協働、地域間協働、行政等との協働による「部活動の地域移行」の推進～**

3 令和5年度実施事業

- (1) 令和5年度総会にて、各地域（北信地区）の「部活動の地域移行」と取組を報告する。
- (2) 国、県及び市町村から発出される各種情報を適時、各地域に情報発信する。
- (3) 各地域※で、部活動改革の推進に関わる検討会議を1回以上実施する。

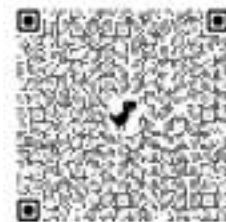
※各地域…「更埴」、「南長野」、「長野市」、「須高」、「中高」、「飯水」 6地域

4 活動目標に対する成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○更埴地区 <ul style="list-style-type: none"> ・軟式野球に限らず、全ての活動を包括する形の「千曲坂城クラブ」の活動がスタートし、他地域のモデルの一つとなっている。 ○南長野地区 <ul style="list-style-type: none"> ・北信地区野球協会（中学校の野球部顧問、外部コーチ等）が中心となり、行政と連携し、野球部の地域移行の検討を行っている。 ○長野市地区 <ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携、協力しながら、多くのチームの地域移行が進んでいる。平日の活動も地域移行したチームもあり、他チームや他地区のモデルの一つとなっている。 ○須高地区、中高地区 <ul style="list-style-type: none"> ・学校や行政による地域移行の検討が進んでおり、来年度中に地域移行を行う予定のチームが複数ある。 ○飯水地区 <ul style="list-style-type: none"> ・飯水地区を包括した、「みゆき野野球クラブ」の設立に向けて準備が進んでいる。 ○国や中体連の動向等を中学軟式野球関係者等に発信し、地域移行の推進に向けた機運づくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国や県からの方針や手段、支援策等が明確に定まらない中で始まった「部活動の地域移行」のため、現時点では、市町村や地域、中学校、競技団体等によって方向性や取組状況が異なる。 ●北信地区内においても小中学生の野球競技人口が減少傾向の中、地域や市町村毎に検討を進めることの難しさがある。 ●学校主体で行われてきた部活動を、学校が関わらない地域クラブへ転換を図るためには課題が多い。（例）地域クラブの整備と基盤強化支援、指導者確保と資格取得、活動場所への移動手段等。→部活動の地域移行を令和の新しいスポーツ活動への転機と捉えた視点が重要。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>□北信地区野球協会は野球を通じた青少年の健全育成を目的に掲げていることや、事業重点に環境づくりを掲げていることから、北信協会が積極的に行政や連盟等と連携し、普及振興の視点からU-15以下世代の子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保に努める。</p> </div>

5 参考資料

- ・地域クラブ活動の大会参加について
(長野県中体連ホームページ)
- ・「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について
(スポーツ庁ホームページ)



長野県中体連 HP



スポーツ庁 HP

北信地区 U-15 軟式野球チーム (R6 の予定)

「〇〇中」の表記は部活動 「・」の表記は合同チーム ★クラブチーム

支部	チーム名	主な活動場所
飯水	みゆき野野球クラブ★	城南中
中高	山ノ内中	山ノ内中
	木島平・野沢温泉中	木島平中央グラウンド
	南宮中	南宮中
	中野平・高社中	中野平中
	東軟式野球クラブ★	須坂市塩野ふれあいG
	長野市	五岳 BBC★(飯綱・信濃が母体)
東北中／スポコミ東北★		東北中
長野日大・東部・裾花中		長野運動公園運動広場、邦友など
NAGANO 三陽ベースボールクラブ★		三陽中
長野北部野球クラブ★		北部中
Sクラブ★		犀陵中
長野東柳クラブ★		北部レク、古里、邦友など
南部球友クラブ★		犀川第2グラウンド
南長野	篠ノ井東中	篠ノ井東中
	篠ノ井西中	篠ノ井西中
	松代中	松代中
	若穂・更北中	若穂中
	川中島中	今井G、犀川南河川敷など
	広徳中	広徳中
更埴	更埴北 BBC (仮) ★	埴生中、更埴西中、屋代中
	更埴南 BBC (仮) ★	戸上中、坂城文化センター

※軟式の合同チームの編成は R5 年度のものであり、R6 年度は変更になる場合があります。

北信地区 U-15 硬式野球チーム

団体	チーム名	主な活動場所
リトルシニア	飯山リトルシニア	飯山市営球場など
	須坂リトルシニア	須坂市野球場、県民Gなど
	長野南リトルシニア	長野西高中条校など
	長野若穂リトルシニア	高山東部グラウンドなど
	長野東リトルシニア	東山G、犀川第2Gなど
	長野北リトルシニア	飯綱町日向グラウンドなど
	中野リトルシニア	中野市営豊田球場など
	坂城千曲リトルシニア	坂城グラウンドなど
ボーイズ	高山リトルシニア	高山村北部運動広場など
	長野ボーイズ	篠ノ井高犀峡校、信州新町Gなど
	千曲ボーイズ	萬葉の里スポーツエリア野球場など

北信地区 U-15 女子軟式野球チーム

チーム名	主な活動場所
長野東ガールズ	犀川第2グラウンド

◎U15 軟式チームは、
令和7年度末までにすべてクラブチームになります。

南長野地区中学校軟式野球は、 R7年度秋からのクラブ化を目指しています

【南長野地区U-15軟式野球クラブ組織図(案)】

【設置目的】

各チームの活動をサポートしながら、チーム間の連携も深め、南長野地区全体としてU-15軟式野球が発展させるために設置する。

南長野クラブ事務局

【役割】

- ・引退した3年生による「南長野クラブ」(R5年度県大会優勝)のチーム運営
- ・南長野地区軟式野球クラブのチーム間調整(グラウンドなど)
- ・技術講習会の開催や巡回指導者派遣

A

拠点：篠ノ井西中グラウンド

B

拠点：篠ノ井東中グラウンド

C

拠点：広徳中グラウンド

D

拠点：松代中グラウンド

E

拠点：若穂中グラウンド

○拠点となるグラウンドを決め、5つのクラブを創設する予定です。

○詳細は南長野中学野球部顧問会で協議しながら準備をしていきます。

【クラブ共通の方針】

- ・自チームのみでなく、南長野地区全体の野球発展のために活動する。
- ・入団クラブは、**居住地や所属校にしばられず自由に選択**できる。

令和5年度 収支決算報告

(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

北信地区野球協会会長 柴山 晋一
会計 小山 大貴

収入	1,607,381	円
支出	1,065,775	円
差引残高	541,606	円

【収入の部】	収入	1,607,381	円
--------	----	-----------	---

(内訳)

		金額	
寄附金	長野県高校野球OB連盟	65,554	円
	コングラント	61,716	円
	個人・企業・団体	398,560	円
補助金	長野県野球協会	441,900	円
謝礼金	長野スポーツフェスティバル	20,000	円
	長野市スポーツ課	70,000	円
利息		4	円
令和4年度からの繰り越し		549,647	円

【支出の部】	支出	1,065,775	円
--------	----	-----------	---

(内訳)

		金額	
総会、プロ野球OB教室、野球の日	会場費 ※1※2	155,290	円
総会、プロ野球OB教室、野球の日	接待費(交通費、謝礼金、昼食代を含む)	152,498	円
北信野球の日実行委員会、夏祭委員会	アトラクション・ブース費	215,870	円
北信野球の日実行委員会、広報委員会	広告宣伝費	214,671	円
北信野球の日実行委員会	保険費・雑費(事務用品費、輸送費、通信費等)	183,876	円
指導力向上委員会	長野市大会運営費(中学生)	80,570	円
総務委員会	会議旅費	63,000	円

・差引残高は一旦、長野県野球協会へ返納し、次年度に北信地区野球協会通帳へ振り込まれる。

※1 会場費は、総会で62,450円、プロ野球OB教室で42,380円、野球の日で50,460円の支出となっている。

※2 総会の会場費は、参加者116名から徴収した500円の合計58,000円(116×500)を当日会場費総額から引いた額となっている。

会計監査の結果、上記のとおり間違いのないことを認めます。

令和6年1月5日

成田 浩和
湯本 浩行



北信地区野球協会 令和6年度事業方針(案)

北信地区野球協会 地区長兼事務局長 塚尾 誠貴

I 本会の目的

野球の振興, 発展, 競技力の向上・青少年の健全な育成(会則第2条)



【本会の目的達成に向けて大切にしたいこと】

「野球に携わってよかった」と全ての人が感じられるような環境づくり

- ・誰に対しても思いやりとリスペクトを持ち続けること。
- ・選手, 指導者, 保護者全員が北信野球の魅力, 未来づくりの当事者であり続けること。
- ・人とのつながりや人間関係づくり, 終わりのない技能の探究, 学び続けられる競技性等の野球の魅力に誇りをもつこと
- ・全カテゴリーの縦のつながり, 各団体, 支部の横のつながり(全ての連携)によって協働的に野球の振興, 発展, 競技力向上や子供の育成を進めること。
- ・野球の普及と競技力向上の両立が野球の振興と発展, 子供の育成になること。
- ・選手は野球を通して自律することを学んだり競技力向上に努めたりする事を通して, 心身ともに成長すること。
- ・指導者で学び続ける指導者あり続けること。
- ・保護者は全ての子どもたちのサポーターであること。

2 令和6年度の事業重点

(1) 15歳以下の全ての子どもたちが, 自らが望む野球に取り組める環境づくり(令和5年~令和7年移行期集中期間)

中学部活動の段階的な地域移行の施行2年目となる。これまで協会主体で中学軟式野球部顧問による情報交換や検討を進めてきた。地域移行のイニシアチブを協会がにぎって, 現状にあった地域移行を実施し, 子どもたちの受け皿を整備できるような体制を模索している。※千曲市・坂城町(軟連千曲支部・坂城支部), 飯山市(軟連高水支部), 長野市北(軟連長野市支部)は概ね地域移行の第I段階は完了。(U-15 マップ参照)後は, 長野市南部(軟連南長野支部)と, 中野市・下高井郡(軟連高水支部)が, R6年度より動き出す見込みである。(各校校長も了承の上)しかし, 地域移行(クラブ)化を未だ示すことができていない地域の野球離れも懸念している。また, そのような過程の中で, 中学部活動の地域移行を, 中学部活動の範囲内で考え, 実施していくことに限界があるということが見えてきた。そこで, 視野を広げて, 「15歳以下の全ての子どもたちが, 自らが望む野球に取り組める環境づくり」をテーマに, 中学軟式だけでなく, U-15 硬式, U-12 と連携しながら事業を展開することが重要だと考え, 下記の通り, 部活動の地域移行の推進を, 地域の野球環境づくりとして捉えて, 各委員会の事業を展開する。※参照: 軟式野球連盟北信連合会の各支部は, 高水, 須高, 長野市, 南長野, 千曲, 坂城の6支部で構成

【活動方針】

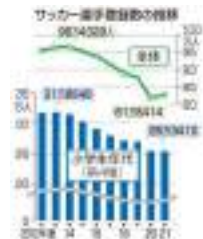
- ・北信地区野球協会が主体となって, 中学顧問を中心とした地域移行検討のサポートを継続する。
- ・U12の大会のあり方や練習環境のサポート (R5年度に実施したU-12指導者保護者アンケートを活用)
- ・軟式硬式指導者及びチームの交流推進。(「JASPO公認コーチ」「BFJ公認野球指導者」「BFJ3級審判員」などの取得推進)

【目指すすがた】

- ・野球に対する考えや姿勢が多様な子どもたちが主体的な判断によって野球を選択できる受け皿の構築
- ・15歳以下の子どもたちが野球だけでなく, 様々な活動や生活体験から学べる環境づくり。
- ・指導者の横のつながりの構築(自分のチームだけでなく, 他チームの良さも理解する)
- ・指導者の発掘, 指導者講習会(勉強会)の実施。指導者は子どもの選択をサポートするコンシェルジュ。

(2) 社会とつながり, 社会をつくる北信野球への発展

これまで, 野球人口の減少に目を向けてさまざまな事業を展開してきた。しかし, 図にあるように, 少子化の進行に伴い, 野球だけでなくサッカーやバスケットボールの人口減少も危惧する情報が散見されるよう



になってきた。近年の学生スポーツの競技者数に関するさまざまな情報を見ていくと、団体競技が減少傾向にあり、卓球や陸上などの個人競技が維持もしくは増加するという傾向にある。中学入学時に希望する団体競技の人数が足らずに、個人競技に切り替えるという選択が増加していると示唆する調査結果も報告されている。これらのことから、野球人口を増やすためには、まずスポーツに取り組む子どもたちの数を増加させる必要がある。

北信野球の歴史をたどれば、地域の名称がチーム名に使われることが多く、自治会の青少年育成活動の1つとして野球チームが発足するなど、学童野球が地域、社会の子どもたちを育成する1つの役割を担い、地域づくり、社会づくりに貢献してきたと言える。

しかしながら、先述した少子化や子どもたちや保護者の価値観、考え方の多様化が進み、さまざまなニーズが社会にあふれている。そのために、野球人口を増やし、野球を通して子どもたちの育成に寄与するためには、他競技とのつながりを強化したり、学童期にはさまざまなスポーツに触れながら活動できる環境を整備したりして、「運動好き」という幹を太くすることが有効だと考えた。そのためには、野球に縛られず、野球は幾多あるスポーツに中の一競技、社会全体の一部であることを謙虚に自覚することが必要となる。

本協会は、野球の日のようなこれまでにない普及イベントを全国の中でもいち早く実施している。だからこそ、他競技と連携する勇気を持ち、様々な競技とつながることで、野球が社会づくりの担い手としてまた、地域スポーツの先導役として発展していけるよう、下記の方針を提案し、各委員会を中心に事業を行いたい。

【活動方針】

- ・北信野球の日では、スポーツ全体の輪を広げられるように、野球以外の競技との協働を図る。(継続)
- ・普及イベントとしてのティーボール大会を通じて、その可能性を北信地区全体で共有し、小学校中低学年(U-10)のこれから野球をはじめ子ども達への支援を図る。
- ・理事役員に野球以外のスポーツ競技、さらには地域経済、行政と関わりの深い人材を増やす。

【目指すすがた】

- ・他競技と協働しながら、北信のスポーツ全体の発展に貢献する。
- ・行政や地域とのつながりを強化し、野球に限らずさまざまな事業を拡大する。
- ・R6年12月1日(日)の北信野球の日、翌8日(日)のティーボール大会と、未就学児、小学校低学年、中学年、高学年、中学生、高校生とそれぞれが、活躍する場を設ける。大人も子どももみんなで横のつながりを大事にしていく。

(3) R7年度の理事役員の改正を見据え、教員以外の地域の皆様や、U-12・U-15の指導者の発掘(NEW)

協会ができる前からご尽力いただいたU-12指導者の皆様、中高の先生方のお力をお借りして、次年度の理事役員の人選を進めていく。6年前、中高の教員でスタートした協会の事業だが、もはや教員だけでは協会の運営が苦しい。また、中高校の教員も世代交代が進んでいる。このタイミングで中学校の部活動が令和7年秋(1,2年生チーム)以降廃止となり、U-12, U-15は全てクラブチーム(地域クラブ)となる。その地域クラブを担う指導者の発掘&育成と、協会との関わりをもっと増やしていきたい。(ぜひ、若手の皆様からも忌憚のない意見をいただきたい)

【活動方針】

- ・1年かけて、R7年度理事役員(U-12各支部代表、各委員会メンバー)の改選を見越して、各支部が主体となって人選を進めていく。
- ・U-12, U-15の地域指導者の発掘

【目指すすがた】

- ・新たな指導者の人材発掘とその指導者を協会を支える。(自チームの地域の野球の発展を目的に指導に携わりたい指導者を支えていく)

3 委員会事業について

- ・前述した方針、重点事業を、各支部、各委員会を中心に展開する。
- ・地域化推進委員会は、中学校部活動の地域移行だけでなく、U-15, U-12全体の環境整備を目的にして事業を展開する。

野球の日実行委員会 令和6年度事業計画

委員長 宮崎 平（須坂創成高校所属）

1 令和6年度の活動方針

「第6回北信野球の日」の計画と運営

2 令和6年度活動目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① イベント開催意義の構築と共有② 経緯と成果の分析から今後の見通しを立てる③ 野球教室・野球交流会を協会組織への移行準備 |
|---|

3 令和6年度事業計画

第7回北信野球の日

日にち 令和6年12月1日（日）

4～5月 実行委員の選出・委託

6～7月 実行委員会顔合わせ

8～9月 イベント概要考察→理事役員会にて審議

10月～ 第7回北信野球の日に向けたミーティング（定期）

4 次年度の予算

第7回北信野球の日 予算 550000円

内訳：運営費 200000円

用具費 200000円

広報費 150000円

1 令和6年度の活動方針

- ・総会の企画，準備，実施。総会は，協会事業等に関する審議と承認，指導者研修の2本立てを基本方針とする。研修の講師などの依頼，調整については，指導力・競技力向上委員会と相談しながらすすめていく。
- ・賛助会員（企業・個人）を広げていく。持続可能な北信地区野球協会のためには，広く寄付を集う必要がある。→多くの方の寄付を募りたい。

2 令和6年度活動目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○継続的な寄付活動の実施 ○総会の企画運営 |
|--|

3 令和6年度実施事業計画

- ① 北信地区野球協会の活動に向けた寄付活動と、継続的な北信地区野球協会の賛助会員（企業、個人）の募集・依頼。
 昨年度同様、寄付を募る。コングラントの継続。新規会員を増やすための取り組みを実施。
 各カテゴリーの大会でのポスターの配付、掲示。
- ② 北信地区野球協会総会 企画運営
 事務局と各委員会との調整。各地域の様々な取り組みの紹介。
- ③ 情報共有、情報配信
 - ・地域移行化したチームから情報収集し，U-12 U-15 に情報発信。
 - ・U-15（軟式・硬式）間での連携。

4 次年度の予算

総会費（会場費，講師謝礼，講師宿泊費，印刷費，オンライン配信必要経費等）	100,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・総会準備費用（会場費，講師謝礼，講師宿泊費等） ・印刷代（会議資料等），事務用品代 ・配信用の PC 周辺機器代
交通費	50,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区への講師及び委員の派遣費用 ※長野県中体連旅費規程を参考 （郡市内） 1回 500 円 （地区内） 1回 1,000 円 （県内） 1回 3,000 円 （県外） ※1回 10,000 円 ※県外の場所によって金額は要相談

北信地区の子どもたちと野球の “今”と“未来”のために 皆様からの寄付をお願いいたします

寄付のお申し込みはこちらから

北信地区の子どもたちと野球の
“今”と“未来”のために寄付を
お願いします

<https://congrant.com/project/nagano89/6558>



お振り込みの場合
八十二銀行
支店名：篠ノ井支店
(店番号283)
口座番号：普通 877685
口座名：北信地区野球協会
代表 齋藤 貴弘

受付期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

目的

次世代を担う青少年世代の支援と野球人口増加への取り組みを推進します。

1. 北信野球の日・ティーボール大会への支援
(12月第1、第2日曜日に開催)
2. 子どもたちの体を守る
3. 北信地区野球協会運営資金

ご支援の使い道について

1. 北信野球の日・ティーボール大会への支援（12月第1、第2日曜日に開催）

北信地区野球協会は、長野県野球協会の下部組織です。もともと野球は、地域ごとに発展してきた歴史があります。そして、これからも直接的に子どもたちと触れ合い、野球の魅力を伝えるのは地域の活動になります。この地域の活動の中心となる地区協会への支援をお願いします。

2. 子どもたちの体を守る

野球を志す者にとって、最も悲しいことは怪我により野球が出来なくなることです。選手が怪我無く成長できるように有益なシステムをつくりまします。大会への派遣は勿論のこと、気軽にメディカルチェックが出来る環境づくりを目指します。

3. 北信地区野球協会運営資金

北信地区野球協会は、6つの委員会を中心とした様々な活動を行っております。そして、これらの活動の根幹となるのは事務局運営となります。北信地区全域という広範囲の活動を纏める運営ですのでHPやSNSの活用は必須となり、事業のみならず様々な場面で運営費が必要となります。新たに歩み出した北信地区野球協会が継続的な組織となれるようご理解をお願いします。そして、集められた支援金の金額と用途に関しては、すべて明確に公開し透明性を確保することをお約束します。

令和6年度の事業重点

<15歳以下の全ての子どもたちが
自らが望む野球に取り組める環境づくり>

【活動方針】

- ・北信地区野球協会が主体となって中学顧問を中心とした地域移行検討のサポートを継続する。
- ・U12の大会のあり方や練習環境のサポート（R5年度に実施したU-12指導者保護者アンケートを活用）
- ・軟式硬式指導者及びチームの交流推進。
- 【目指すすがた】
- ・野球に対する考えや姿勢が多様な子どもたちが主体的な判断によって野球を選択できる受け皿の構築
- ・15歳以下の子どもたちが野球だけでなく様々な活動や生活体験から学べる環境づくり。
- ・指導者の横のつながりの構築（自分のチームだけでなく、他チームの良さも理解する）
- ・指導者の発掘指導者講習会勉強会の実施。指導者は子どもの選択をサポートするコンシェルジュ。

<社会とつながり、
社会をつくる北信野球への発展>

【活動方針】

- ・北信野球の日ではスポーツ全体の輪を広げられるように野球以外の競技との協働を図る(継続)。
- ・普及イベントとしてのティーボール大会を通じてその可能性を北信地区全体で共有し、小学校中低学年(U-10)のこれから野球を始める子ども達への支援を図る。
- ・理事役員に野球以外のスポーツ競技、さらには地域経済行政と関わりの深い人材を増やす。
- 【目指すすがた】
- ・他競技と協働しながら北信のスポーツ全体の発展に貢献する。
- ・行政や地域とのつながりを強化し野球に限らず様々な事業を拡大する。
- ・R6年12月1日(日)の北信野球の日、翌8日(日)のティーボール大会と、未就学児、小学生、中学生、高校生それぞれが活躍する場を設ける。

<R7年度の理事役員の改正を見据え、
教員以外の地域の皆様や、U-12・U-15
の指導者の発掘 (NEW) >

【活動方針】

- ・1年かけて、R7年度理事役員(U-12 各支部代表者、各委員会メンバー)の改選を見越して、各支部が主体となって人選を進めていく。
- ・U-12、U-15の地域指導者の発掘。

【目指すすがた】

- ・新たな指導者の人材の発掘と、その指導者を教会で支える。(自チームの地域の野球の発展を目的に、指導に携わりたい指導者を支えていく。)



令和6年度委員会事業

<野球の日実行委員会>

- ・第7回北信野球の日の運営 令和6年12月1日(日)

<総務委員会>

- ・北信地区野球協会の活動に向けた寄付活動
- ・継続的な北信地区野球協会の賛助会員(企業、個人)の募集、依頼

<広報委員会>

- ・北信地区野球協会総会の企画運営
- ・各地域の情報共有、情報収集
- ・指導競技力向上にかかわる事業の募集
- ・活動内容の周知
- ・活動・事業の様子発信
- ・野球関係事業の参加希望者への周知、募集
- ・北信地区野球協会への賛助企業の募集

<普及委員会>

- ・単一チームではなく複数チームによる合同での普及活動
- ・幼稚園・保育園への普及イベントのアナウンス、参加状況およびニーズの把握
- ・U-8を対象とした練習会の実施
- ・ティーボール大会への運営協力 令和6年12月8日(日)

<指導力・競技力向上委員会>

- ・投球マニュアルに沿った講習会
- ・オンラインで練習ができる環境の整備
- ・中学3年対象の講習会
- ・長野県技術委員会による野球教室
- ・長野市野球大会(中学校の部)の運営 ※名称変更予定
- ・北信地区野球協会総会での指導者研修会

<地域化推進特別委員会>

- 【情報収集・情報発信】
- ・国及び県等から発出される関連情報を適時メール等で配信
- ・地域移行の推進状況を踏まえ、必要に応じて実態調査を実施
- ・地域移行に関する先進的な取組の視察と報告

【検討会議委員会】

- ・各地域で検討会議の実施
- ・責任者は本委員会の委員や中体連専門委員等からの選出
- ・検討会議の参加者は、地域の実態に応じて地区ごとに人選する
- ・本委員会を定期的に開催し、各地域の取り組み状況を情報共有する

R4,5年度 北信地区野球協会 賛助企業会員, 賛助個人会員一覧

<北信地区野球協会>

長野県OB.OG連盟北信支部/坂田木材(株)/Reborn/マルコメ(株)/長野スポーツマガジン(株)/旬ACEN/春原木材/中野土建(株)/湯本建築設計/ピオカ/森永長野中央/杏花印刷/西澤製作所/ホテル大六/長野経済新聞/塚田建設/滝澤板金塗装/ユニバーサル・アイ/長野県民球団/石田通信機(株)/宮坂総合寝装/山口建築/三功金属/酒井商会/スクールユニホームタカコウ/寿し孝宮川/松代高校野球部OB会/篠ノ井高校OB会/桂雪倶楽部(飯山高校OB)/旬長春館/ゆでたんやごっくん/ふるさと石産/スター商会/北信家具センター/一般社団法人長野移動販売つなぎ局/全国野球復興/松代少年野球/小林建築/竹内塗装/北陽/丸山商店/原建/旬定鑑堂/松橋達生/坂田吉久/堀賢治/宮川和憲/小林(篠ノ井高校OB)/小橋浩樹/畔上浩一/宮本誠/千葉信人/田中吉幸/竹内司/和田祥樹/村山雅俊/大槻長/柴山晋一/石田三知夫/村松篤/塚尾誠貴/ウチヤマシンイチ/草田敏彦/滝沢友和/中曾根通/永原幸一/宮崎崇/たけふしひさとし/湯本浩行/花岡健太郎/上原智洋/伊藤秀樹/山口近/カトウヒロミ

お問合せ：長野県野球協会北信地区野球協会 事務局長：塚尾誠貴

Mail:sfb.hokushin.89@gmail.com



長野県野球協会北信地区野球協会

広報委員会 令和6年度事業計画（案）

委員長 長谷川 良人（千曲市立屋代中学校）

1 令和6年度の活動方針

北信地区野球協会の行う普及活動、指導・競技力向上にかかわる事業の先行的な発信と共有

2 令和6年度活動目標

S N S（Facebook・Twitter・Instagram）、ホームページなどでの継続的な情報発信
フォロワー数、リーチ数の増加
北信地区野球協会での協賛・協力企業の広告的価値増加

3 令和6年度事業計画

普及活動、指導競技力向上にかかわる事業の募集、活動内容の周知

【継続】○活動・事業の様子発信。

→フォロワー数・リーチ数の増加 Instagram 1 1 0 0 X (Twitter) 2 0 0

→U-12 選手募集発信

【継続】○広告ツールを活用し、野球関係事業の参加希望者への周知、募集を図る。

→U-12 選手募集チラシのHP掲載数の増加

→広告配布

（北信地区幼保小50000部配布、ティール大会北信地区小1～4年20000部）

【継続】○北信地区野球協会への賛助企業の募集 イメージアップ

→「北信野球の日」への集客力

→ 企業広告への寄与

4 次年度予算

広告出稿費用 40,000円

ホームページ維持管理費 40,000円



普及委員会 令和6年度事業計画

委員長 清水伸彦（長野市少年野球連盟所属）

1 令和6年度の活動方針

野球・ソフトボールを含めたベースボール型球技の普及活動を支援する。特に、小学校低学年及び幼保への働きかけを目指し活動を行う。同時に、離脱する子どもを減らしていくことも目指したい。あるべき普及のために、広報委員会及び指導力・競技力向上委員会との連携を密にする。

2 令和6年度活動目標

①地域移行と競技継続を見据えた普及活動の実践

複数チームによる合同練習等の実施

②U-8におけるベースボール型球技の普及促進

幼稚園・保育園へ普及イベントのアナウンス及び参加状況把握

U-8を対象とした合同体験会を実施

③第2回Tボール大会への運営協力

3 令和6年度事業計画

①単一チームではなく複数チームによる合同での普及活動

これまでの普及活動はチーム存続のため行われてきた側面があるが、これからは地域移行と競技継続を見据えた普及活動が求められる。近隣のチーム同士での普及活動や連盟単位での普及活動など今までも行われてきた活動はそのままに、徐々に地域で野球の魅力を発信していける形へと発展させていきたい。そのためにも、既存のチームの枠組みにとらわれない活動展開が必要となる。数あるスポーツのうちの一競技として指導者同士がこれまで以上に連携し、子どもたちを迎え入れたい。

②幼稚園・保育園への普及イベントのアナウンス、及び参加状況とニーズの把握

U-8を対象とした練習会の実施、並びに第2回Tボール大会への運営協力

第6回北信野球の日では北信地域の小学生にチラシ配布をおこなえたが、幼稚園・保育園への配布は薄くなってしまった。U-8として考えると、野球・ソフトボールのベースボール型球技の一端に触れる機会として考えている。また、参加状況及び参加者のニーズを丁寧に拾いあげていくことも並行して行い、よりよいものを模索していきたい。そしてこれらの活動は上記①でも行えることと考えられ、①と②が令和6年度における普及委員会事業の両輪としてとらえられる。加えて、今年度U-8を対象とした講習会を実施したが、次年度は複数チームにおいて、または大会運営と並行しての練習会開催をこれまで以上に実施したい。

4 次年度の予算

- (1) 普及活動における用具の更新 10万円
- (2) 普及活動における保険料 5万円

指導力・競技力向上委員会 令和6年度事業計画（案）

委員長 山本 一博（長野市立裾花中学校）

1 活動方針

- ・指導者の指導力向上を目指しての講習会の実施や、県協会のライセンス取得の推進
- ・選手の技能向上・健全育成を目指してU10, U12, U15, U18の各カテゴリーの指導内容に沿った講習会の実施。（一貫した指導体制の確立）

2 活動目標

自ら考え、学ぶ選手の育成

～指導者の指導力向上と選手の技術力の向上、健全な育成を目指す～

3 所管事項

- （1）選手の育成・強化に関すること
- （2）指導者養成に関すること（県協議会のライセンス制，スポーツ協会コーチ）
- （3）指導者研修会に関すること
- （4）指導者の体罰・暴力等撲滅に関すること
- （5）指導者派遣に関すること
- （6）その他技術指導に関すること
- （7）生涯スポーツに関わること

4 年間計画案

通 年	・投球マニュアルに沿った講習会（指導者・選手向け） 指導者の見る目を育てる【今年度の重点】 ・オンラインやビデオで練習方法やチェックポイントをいつでも確認できる環境の整備（県協会 広報委員会と連携して）
9 月	・中学3年対象の講習会
11 月	・長野市少年野球大会（中学校の部） ※名称を変更予定 ・長野県技術委員会による 野球教室
2 月	・北信地区野球協会総会 指導者研修会 研修内容・講師の選定は概ね半年前から委員で準備する

5 予算

- ・講習会の講師謝礼・交通費等・・・協会の規定による（検討）

地域化推進特別委員会 令和6年度事業計画（案）

委員長 （所属）

1 令和6年度の活動方針（案）

スポーツ庁の方針に基づき、令和7年度末を目途に、中学軟式野球の「部活動の地域移行」が着実に進展するよう、子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保と、野球に親しむ活動環境づくりの視点から関係者が協働し、段階的に部活動から地域クラブへ発展的転換を図る。

2 令和6年度活動目標（案）

「U15以下の全ての子どもたちが、自らが望む野球に取り組める環境づくり」
～小中協働、協会内協働、地域間協働、行政等との協働による「部活動の地域移行」の推進～

【具体的な取組（案）】

- ・令和6年度総会にて、各地域（北信地区）の「部活動の地域移行」の取組を報告する。
- ・全ての地域※で、「部活動の地域移行」に係る検討会議を実施し、地域移行の方策について検討をする。多くのチームが地域移行した地域は、移行後の課題把握やよりよいチーム運営に向けた協議を行う。

※地域…「更埴」、「南長野」、「長野市」、「須高」、「中高」、「飯水」 6地域

3 令和6年度事業計画（案）

	4月～7月	8月～12月	1～3月
情報収集 情報発信	○国及び県等から発出される関連情報を適時メール等で配信 ○地域移行の推進状況を踏まえ、必要に応じて実態調査を実施 ○地域移行に関する先進的な取組の視察と報告		○活動報告 ○事例報告
検討会議 委員会	○各地域で検討会議を実施する。 ※隣接する地域が合同で検討会議を行うことも考えられる。 ○責任者は本委員会の委員や中体連専門委員等から選定する。 ○検討会議への参加者は、地域の実情に応じて地区毎に人選する。 (例) U12チーム指導者、U15チーム指導者、スポーツ協会関係者、行政関係者、北信地区野球協会理事・役員、保護者等 ○本委員会を定期的開催し、各地域の取組状況を情報共有する。		○R6事業評価とR7事業計画の作成と報告

4 令和6年度予算（案）

会議費	30,000円	・印刷代 ・事務用品代 ・その他、雑費
交通費	20,000円	・各地区への講師及び委員の派遣費用（※長野県中体連旅費規程を参考） (郡市内) 1回 500円 (地区内) 1回 1,000円 (県内) 1回 3,000円

令和6年度 北信地区野球協会 会計予算(案) (令和6年1月1日～令和6年12月31日)

北信地区野球協会会長 柴山 晋一

会計 小山 大貴

1 収入の部	1,689,606 円
2 支出の部	1,689,606 円
3 差引残高	0 円

[収入の部]

項目	令和6年度予算額	内訳
繰越金	541,606	令和5年度北信地区野球協会繰越金
補助金	500,000	長野県野球協会
寄附金	500,000	
協力金	20,000	長野スポーツフェスティバル
総会参加費	128,000	1人2,000円×64名
収入合計	1,689,606	

[支出の部]

項目	令和6年度予算額	内訳
(1) 北信野球の日	550,000	
1、北信野球の日 運営費	200,000	オリスタ使用料、保険料、接待費、企画
2、用具費	200,000	新規用具購入、用具、ボール(普及イベント・幼保活動会)
3、広告費、チラシ代	150,000	
(2) 総務委員会・事務局	400,000	
1、総会費	250,000	会場費、講師謝礼、印刷費
2、交通費	50,000	派遣費用
3、旅費	100,000	各委員会、事業運営スタッフ分
(3) 広報委員会	80,000	
1、ホームページ制作、管理運営	80,000	ホームページ維持管理費
(4) 各委員会	200,000	
1、交通費、講師謝礼	160,000	普及委員会、指導力・競技力向上委員会、地域化推進特別委員会
2、会議費	40,000	資料作成、印刷費
(5) 予備費	459,606	備品整備や普及活動などにあてる。持続可能な組織となるために資金に余裕を持たせて運営する。
支出合計	1,689,606	

総会 野球教室 講演会

アンケートについて



アンケートのご協力よろしく申し上げます。